

# あおぞら学級 算数科学習指導案

日 時 平成29年11月15日(水) 5校時  
児 童 4年生 男1名 計1名  
指導者 佐々木 和子

## 1 単元名 なかよく 分けよう

## 2 単元について

### (1) 教材について

児童は、日常生活の中で、ものを分けるということは数多く経験しているが、「等分割する」という学習に取り組むのは本単元が最初である。児童は、これまでに、50以下のものの個数や順番の数え方、数の大小について学習してきた。

これらの学習で身についた数の意味理解や数を用いる力を生かし、本単元では、「全体の数」「分ける数」「分けた数」を正確におさえさせて、除法の基礎的概念となる考え方を理解させる学習を進めていく。

今後、日常生活でも等分割する必要がある場面を取り上げ、実際に児童にものを分けさせることで活用する力の定着を図っていく。

### (2) 児童について

児童は、算数の学習に意欲的に取り組むが、長時間集中することは難しく、常同行動として歌やラジオのCMで流れる台詞を思いつくままに口にしたり、椅子に座りながら床に椅子を打ちつける動作を繰り返したりすることがある。

児童は、支援の下に具体物や半具体物を揃えて1列に並べたり10のまとまりを作ったりする操作活動を行えば、50までのものの個数は数えることができる。2つの集合の数を数えて大小比較をした後に、「どちらがいくつ多いか」という発問をすれば、減法の立式をして問題を解決することができる。

会話による意思伝達が苦手なので、振り返りにおいては課題解決の手順を説明したり、自分が躓いた点や分からないことを発表したりすることは困難である。

### (3) 指導について

本単元の学習では、既習想起時の振り返りと終末の振り返りに重点を置く。

既習想起時の振り返りでは、被除数や除数、1人分の数を確認しながら、具体的な操作活動を通して「等分割する」ということのイメージをもたせる活動を繰り返し行う。この操作活動のやり方を覚えて確実に行うことができたかどうか振り返らせ、教師の声かけによって児童に認識させる。

終末では、どのようにして等分したのか、その過程をもう一度丁寧に確認し、同じ数ずつ分けていく等分除や包含除の答えの見つけ方を統合的にとらえさせる。

児童の実態に合わせ、指導に当たっては、作業机や黒板に移動して操作活動をやらせたり、課題をやり終えたら次にすべきことをすぐ提示したりして、学習に持続して取り組ませるようにしていく。また、問題解決の場面ではこまめに声かけし、「自分でやります。」「分かりません。」「手伝ってください。」という表現を使って言葉のやり取りをすることで、児童が支援を必要としているかどうか確認していきたい。

### 3 単元の目標

○等分割の意味を理解し，具体物を等分できるようにする。

○操作手順を覚えることで見通しをもって活動に取り組めるようにさせ，達成感を味わわせる。

#### 【関心・意欲・態度】

・具体物の操作を通して，等分割の意味ややり方を言葉で確認しながらとらえようとしている。

#### 【数学的な考え方】

・具体物を同じ数ずつ分けていくことが，結果として等分割されることが分かる。

#### 【技 能】

・具体物を操作して，等分割ができる。

#### 【知識・理解】

・等分割の意味について理解する。

### 4 指導計画（8時間扱い）

時	目 標	おもな評価規準
1人分の数を求める方法（3時間）		
1	○等分除の意味について理解する。	【関】等分除の意味を具体的な操作からとらえようとしている。
2	○等分除の答えの見つけ方を理解する。	【知】等分して1人分の数を求める場合は，1つずつ残りがなくなるまで分ければよいことを理解している。 【考】具体物を操作し，等分除の答えを見つけている。
・		
3		
何人に分けられるかを求める方法（3時間）		
4 本 時	○包含除の意味について理解する。	【関】包含除の意味を，具体物の操作からとらえようとしている。
5 ・ 6	○包含除の答えの見つけ方を理解する。	【知】何人に分けられるかを求める場合は，複数の数を1まとまりとして分けていく操作をすればよいことを理解している。 【考】具体物を操作し，包含除の答えを見つけている。
まとめ（2時間）		
7	○学習内容を適用して問題を解決する。	【技】学習内容を適用して，問題を解決することができる。
8	○学習内容の定着を確認し，理解を確実にする。	【知】基本的な学習内容を身につけている。

5 本時の指導（4／8時間）

（1）目標

包含除の意味について理解する。

（2）評価規準

十分満足できる	おおむね満足できる
具体物の操作から包含除の意味をとらえ、等分除との違いを考えようとしている。	包含除の意味を具体物の操作からとらえようとしている。

支援の手立て
<ul style="list-style-type: none"> <li>ゼリーやクッキーの個数を数える時は、指を添えて数詞と個数が1対1対応になるようにゆっくり唱えさせる。</li> <li>皿に入れたクッキーの数が同数になっていることを確認しながら分けていき、包含除の意味理解を図る。</li> </ul>

（3）展開

過程	◎学習活動	※留意点 ○振り返りの視点 【 】評価
つ か む ・ 見 通 す  20 分	<p>◎既習想起をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>既習の等分除の問題に取り組む。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>ゼリーが20こあります。5人で同じ数ずつ分けると、1人分は何こになりますか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>ゼリーを5等分する。</li> </ul> <p>◎本時の問題を把握する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>クッキーが12こあります。1人に3こずつ分けると、何人に分けられますか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>クッキーの数を数え、12個あることを確認する。</li> <li>1人にクッキーを3個配ることを確認する。</li> </ul> <p>◎見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1人分のクッキー3個は、1皿に入れる。</li> <li>1皿に3個ずつ次々に入れていく。</li> </ul>	<p>○既習想起時の振り返り</p> <p>実際にゼリーを5等分させ、同じ数ずつ分けるには1個ずつ順に配っていけばよいことを覚えていたか確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>前時の問題を解く。</li> </ul> <p>※取り組む姿勢をほめて意欲を高め、最後まで集中して取り組めるようにする。</p> <p>※今までは、1人分を求める問題であったが、今回は1人分の数が決まっていることをおさえさせる。</p> <p>※具体物を提示し、12個が「全体の数」、3個が「分ける数」であることをおさえさせる。</p> <p>※1人分の数をおさえさせるために、実際に1皿にクッキーを3個入れる操作をさせる。</p>
考 え	<p>◎問題を解決する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>クッキー12個から1人分の3個を取っ</li> </ul>	<p>※クッキーを分ける相手を身近な人に設定さ</p>

<p>る ・ 深 め る</p> <p>20 分</p>	<p>ても、まだ分けられることに気づく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2人に分けても、残りをまだ分けられることが分かる。</li> <li>・ 3人に分けても、残りをまだ分けられることが分かる。</li> <li>・ 4人に分けると、全部分けられることが分かる。</li> </ul>	<p>せ、意欲的に活動させる。</p> <p>※クッキーが余っている場合は、分けてあげる人が増えることを確認する。</p> <p>※活動を見守りながら、操作のやり方を短く具体的な言葉で表現してあげ、その言い方でいかどうか児童に確認しながら進めていく。</p> <p>【関】 包含除の意味を、具体物の操作からとらえようとしている。(発言・操作活動)</p> <p>※クッキーの余りはないこと、1人分は誰もが3個であることを確認させる。</p>
<p>ま と め る</p> <p>5 分</p>	<p>◎本時の学習内容をまとめる。</p> <div data-bbox="252 748 699 869" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>1人に3こずつ なくなるまでくばる。</p> </div> <p>◎振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 12個の算数ブロックを3個ずつに分ける。</li> <li>・ 自分ががんばったところを発表する。</li> </ul>	<p>○終末の振り返り</p> <p>算数ブロックを、クッキーの分け方と同じように分けさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ クッキーの分け方と同様に、算数ブロックも分ける。</li> </ul> <p>※分ける際に、留意したことを確認する。</p>

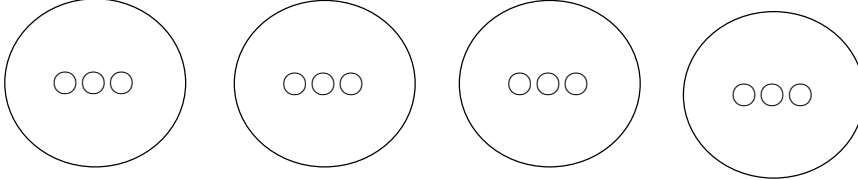
(4) 板書計画

もんだい

クッキーが12こあります。  
1人に3こずつ分けると、何人に分けられますか。

答え 4人

クッキーの分けかた



わかったこと

3こずつ なくなるまで くばる

1人分は 3こ  
1さらに 3こ入れる